

報道用資料

子規・漱石生誕150年記念
『第15回坊っちゃん文学賞』
応募結果について

今回の応募総数は 1,941 点

小説部門: 854 点
ショートショート部門: 1,087 点

平成 29 年 7 月 11 日

松 山 市

松山市は、昨年7月から実施していた、新しいタイプの青春文学小説を募る「第15回坊っちゃん文学賞」の作品募集を、本年6月30日に締め切りました。今回の応募総数は1,941点で、小説部門が854点、ショートショート部門が1,087点となりました。



応募者の内訳は、年齢別では、小説部門については60歳代以上(208点)が最も多く、次いで40歳代(205点)、ショートショート部門においては30歳代(250点)が最も多く、次いで20歳代(212点)が多い結果となりました。地域別では、両部門ともに東京がこれまで同様群を抜いて多いものの、愛媛県のショートショート部門は、東京に次いで2番目に多く作品が寄せられ、そのうち地元・松山市内からの応募は6割強を占めています。また、海外からは両部門合わせて16点が寄せられました。

これらの作品は現在審査の途中ですが、本年11月下旬に実施の最終審査会を経て、小説部門では大賞1作品、佳作2作品を、ショートショート部門では大賞1作品、佳作1作品、子規・漱石特別賞1作品を選出いたします。

なお、小説部門の大賞受賞者には賞金として200万円、佳作受賞者には賞金50万円を、またショートショート部門の大賞受賞者には賞金20万円、佳作受賞者には賞金5万円、子規・漱石特別賞受賞者には賞金5万円を贈るほか、それぞれの大賞作品を株式会社マガジンハウス発行の「Hanako」誌上に全文掲載の予定です。



松山市は1889年(明治22年)の市制施行以来、四国の中核都市として発展を遂げる一方、文化的にも、正岡子規、高浜虚子など多くの俳人を輩出、夏目漱石の代表作『坊っちゃん』の舞台となった地として全国に知られています。「坊っちゃん文学賞」は、このような文学的背景のある本市が、新しい青春文学の創造を目指して1989年(平成元年)の市制100周年を機に創設したものです。作品は隔年で募集し、大賞ならびに佳作作品を決定しています。審査員は、椎名誠(審査員長)、早坂暁、中沢新一、高橋源一郎の諸氏です。

地元・松山市の敷村良子さんが第4回大賞を受賞した『がんばっていきまっしょい』は、単行本を出版後、1998年(平成10年)に田中麗奈さん主演で映画化され、さらに2005年(平成17年)にはテレビドラマとして全国放送されるなど、大きな反響を呼びました。他にも、単行本化をはじめ、テレビ・ラジオドラマ化された作品を生んでおり、文芸関係者以外からも注目を集めています。

今回、坊っちゃん文学賞は第15回の節目であるとともに、審査発表を行う本年は、正岡子規・夏目漱石生誕150年を迎えることから、これを記念し、新たにショートショート部門を設けました。

『第 15 回坊っちゃん文学賞』 作品応募状況

☆募集期間 平成 28 年 7 月 26 日～平成 29 年 6 月 30 日

☆応募総数 1,941 点 (第 14 回 911 点 *小説部門のみ)
 - 小説部門 : 854 点
 - ショートショート部門(SS):1,087 点

【内訳】

<年齢別>

年齢	小説	SS	前回 (小説のみ)
10代	8	92	(10)
20代	104	212	(156)
30代	149	250	(191)
40代	205	198	(194)
50代	165	187	(151)
60代以上	208	130	(199)
無記入 共作	15	18	(10)
合計	854	1,087	(911)

※参考 <小説> 最年少応募者 愛媛県在住 14 歳
 最年長応募者 埼玉県在住 87 歳
 <SS> 最年少応募者 愛媛県在住 12 歳
 最年長応募者 静岡県在住 96 歳

<職業別>

	小説	SS		小説	SS
無職	196	153	公務員	47	59
会社員	189	239	家事手伝い	2	4
学生	38	135	団体職員	30	35
自営業	54	52	その他	151	172
主婦・主夫	69	113	無記入	16	16
アルバイト	62	109			
			合計	854	1,087

<地域別>

小説	SS	前回	小説	SS	前回	小説	SS	前回			
北海道	21	18	(18)	近畿	157	214	(172)	海外	11	5	(13)
東北	46	45	(47)	三重	8	13	(6)	中国	2	0	(0)
青森	5	5	(5)	滋賀	7	12	(8)	イギリス	1	2	(-)
岩手	4	3	(9)	京都	17	51	(32)	フランス	1	1	(1)
宮城	14	17	(16)	大阪	68	73	(67)	アメリカ	1	1	(2)
秋田	5	3	(2)	兵庫	43	46	(44)	インド	1	0	(-)
山形	11	10	(3)	奈良	11	7	(9)	韓国	1	0	(-)
福島	7	7	(12)	和歌山	3	12	(6)	香港	1	0	(-)
関東	340	400	(396)	中国	31	62	(35)	ドイツ	1	0	(1)
茨城	12	9	(16)	鳥取	2	3	(3)	カナダ	1	0	(0)
栃木	9	14	(8)	島根	0	1	(2)	ウクライナ	1	0	(1)
群馬	10	9	(10)	岡山	8	29	(11)	オーストラリア	0	1	(1)
埼玉	48	54	(41)	広島	16	21	(17)	不明	0	0	(1)
千葉	44	49	(47)	山口	5	8	(2)				
東京	152	200	(212)	四国	88	141	(76)				
神奈川	65	65	(62)	徳島	5	3	(5)				
中部	95	135	(93)	香川	9	9	(15)				
新潟	8	23	(9)	愛媛	65	120	(44)				
富山	4	3	(3)	(うち松山市)	34	77	(18)				
石川	7	4	(6)	高知	9	9	(12)				
福井	3	4	(2)	九州	65	67	(60)				
山梨	2	2	(3)	福岡	22	37	(19)				
長野	12	19	(7)	佐賀	2	2	(4)				
岐阜	4	9	(9)	長崎	5	4	(4)				
静岡	17	14	(13)	熊本	6	3	(9)				
愛知	38	57	(41)	大分	8	4	(4)				
				宮崎	4	4	(3)				
				鹿児島	14	8	(8)				
				沖縄	4	5	(9)				
								合計	854	1,087	(911)

* ()内は、第14回 小説部門のみ
 * 海外は応募があった国・地域のみ表示

＜第 15 回坊っちゃん文学賞 募集要項＞

【小説部門】

募集作品:

斬新な作風の青春文学小説。日本語で書かれ、未発表で筆者自身のオリジナルな作品に限ります。

応募方法:

400 字詰原稿用紙換算で 80 枚以上 100 枚以下の作品。パソコン・ワープロ使用の原稿は、A4 判用紙に、1 枚につき 30 字×40 行・縦書きで印字し、手書き原稿は、400 字詰原稿用紙で応募ください。表紙に題名、氏名、住所、電話番号、年齢、職業、400 字詰原稿用紙換算枚数を明記のうえ、別紙に作品のあらすじ(30 字×20～30 行程度/400 字詰原稿用紙 2 枚程度)を付記してください。筆名使用の場合は本名も書き添えてください。原稿はクリップ等でまとめてください。

応募資格:

年齢、性別、職業、国籍は問いません。

応募先:

〒790-8571 松山市二番町 4-7-2 松山市 文化・ことば課
坊っちゃん文学賞実行委員会事務局 小説部門受付係 宛
TEL:089-948-6634

締切:

2017 年 6 月 30 日(金)(当日消印有効)

審査員:

椎名誠、早坂暁、中沢新一、高橋源一郎(※順不同・敬称略)

賞:

大賞/賞金 200 万円(1 名) 佳作/賞金 50 万円(2 名)

発表:

平成 29 年 11 月(受賞者に直接通知いたします)

掲載:

大賞受賞作品は株式会社マガジンハウス刊「Hanako」誌上に掲載。

主催:

松山市 坊っちゃん文学賞実行委員会

後援:

一般社団法人 日本ペンクラブ、公益社団法人 全国高等学校文化連盟、愛媛大学、松山大学

URL:

<http://bocchan.matsuyama.ehime.jp/>

その他:

大賞および佳作受賞作品の著作権は松山市に帰属し、応募作品は返却いたしません。

選考に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

【ショートショート部門】

募集作品:

「青春」をテーマにしたショートショート。ショートショートとは、アイデアと、それを活かした結末のある小説です。日本語で書かれ、未発表で筆者自身のオリジナルな作品に限ります。

応募方法:

400 字詰原稿用紙換算で 15 枚以下の作品。パソコン・ワープロ使用の原稿は、A4 判用紙に、1 枚につき 30 字×40 行・縦書きで印字し、手書き原稿は、400 字詰原稿用紙で応募ください。表紙に題名、氏名、住所、電話番号、年齢、職業、400 字詰原稿用紙換算枚数を明記してください。筆名使用の場合は本名も書き添えてください。原稿はクリップ等でまとめてください。

応募資格:

年齢、性別、職業、国籍は問いません。

応募先:

〒790-8571 松山市二番町 4-7-2 松山市 文化・ことば課
坊っちゃん文学賞実行委員会事務局 ショートショート部門受付係 宛
TEL:089-948-6634

締切:

2017 年 6 月 30 日(金)(当日消印有効)

審査員:

田丸雅智(作家・松山市出身、審査委員長)、ウェス・じゃん＝まーく(翻訳家)、神野紗希(俳人)、水鏡なお(漫画家) ※順不同・敬称略

賞:

大賞／賞金 20 万円(1 名) 佳作／賞金 5 万円(1 名) 子規・漱石特別賞／賞金 5 万円(1 名)

発表:

平成 29 年 11 月(受賞者に直接通知いたします)

掲載:

大賞受賞作品は株式会社マガジンハウス刊「Hanako」誌上に掲載。

主催:

松山市 坊っちゃん文学賞実行委員会

後援:

一般社団法人 日本ペンクラブ、公益社団法人 全国高等学校文化連盟、愛媛大学、松山大学

URL:

<http://bocchan.matsuyama.ehime.jp/>

その他:

大賞、佳作、子規・漱石特別賞受賞作品の著作権は松山市に帰属し、応募作品は返却いたしません。選考に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

■小説部門 審査員 プロフィール(順不同・敬称略)

椎名 誠

1944年(昭和19年)6月14日生。東京都出身。東京写真大学中退。作家。1979年「さらば国分寺書店のオババ」がベストセラーとなる。1989年「犬の系譜」で第10回吉川英治文学新人賞、1990年「アド・バード」で第12回日本SF大賞。「岳物語」(1989年)、「中国の鳥人」(1993年)、「黄金時代」(2000年)など著書多数。近著に『おれたちを笑え！わしらは怪しい雑魚釣り隊』(小学館)、『雨の匂いのする夜に』(朝日新聞出版)。最新刊は、『おなががすいたハラベコだ。』(新日本出版社)、『あやしい探検隊 台湾ニワトリ島乱入』(KADOKAWA)、『すばらしい黄金の暗闇世界』(日経ナショナルジオグラフィック社)など。



早坂 暁

1929年(昭和4年)8月11日生。愛媛県松山市出身。旧制松山中学校、海軍兵学校、旧制松山高校を経て、日本大学芸術学部演劇科卒。小説家、脚本家、演出家。芸術選奨文部大臣賞、放送文化賞、新田次郎文学賞、講談社エッセイ賞、モンテカルロ国際テレビ祭最優秀脚本賞、芸術祭賞、等受賞。1994年紫綬褒章、2000年旭日小綬章を受賞。代表作は、テレビ：「夢千代日記」「天下御免」「花へんろ」「事件シリーズ」、映画：「天国の駅」「空海」「夏少女」「きけ、わだつみの声」、小説・エッセイ：「ダウントウン・ヒーローズ」「遍路国往還記」「『戦艦大和』日記」「華日記」「公園通りの猫たち」、舞台：「好色一代男」「空想家族」「女相撲」「OPPEKEPE」など(いずれも作・演出)など多数。



中 沢 新 一

1950年(昭和25年)5月28日生。山梨県出身。東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学。思想家・人類学者。現在、明治大学野生の科学研究所所長。著書に「チベットのモーツァルト」、「森のバロック」(読売文学賞)、「フィロソフィア・ヤポニカ」(伊藤整文学賞)、「アースダイバー」(桑原武夫学芸賞)「カイエ・ソバージュ」シリーズ(第五巻「対称性人類学」で(小林秀雄賞))、「野生の科学」、「大阪アースダイバー」ほか多数。近著に「熊楠の星の時間」がある。これまでの研究業績が評価され、2016年5月に第26回南方熊楠賞(人文の部)を受賞した。



高 橋 源 一 郎

1951年(昭和26年)1月1日生。広島県出身。横浜国立大学中退。小説家。明治学院大学国際学部教授。1981年「さようなら、ギャングたち」で群像新人長編小説優秀賞、1988年「優雅で感傷的な日本野球」で第1回三島由紀夫賞、2002年「日本文学盛衰史」で伊藤整文学賞を受賞。2012年「さよならクリストファー・ロビン」で谷崎潤一郎賞を受賞。ポップ文学の旗手であり、現代アメリカ文学にも詳しい。競馬にも関心がありコラムの執筆等を行っている。その他「ジョン・レノン対火星」文学がこんなにわかっていいかしら」「官能小説家」「一億三千万人のための小説教室」「ニッポンの小説 百年の孤独」訳著「ブライト・ライツ、ビッグ・シティ」。最新刊は「銀河鉄道の彼方に」。



■ショートショート部門 審査員 プロフィール(順不同・敬称略)

田丸 雅智

1987年、愛媛県生まれ。東京大学工学部、同大学院工学系研究科卒。2011年、『物語のルミナリエ』(光文社文庫)に「桜」が掲載され作家デビュー。12年、樹立社ショートショートコンテストで「海酒」が最優秀賞受賞。「海酒」は、ピース・又吉直樹氏主演により短編映画化された。15年、ショートショート大賞の立ち上げに尽力し、審査員長を務めるなど、新世代ショートショートの旗手として精力的に活動している。主な著書に『夢巻』『海色の囂』など。



ウェス・じゃん＝まーく

1952年(昭和27年)10月22日生。フランス出身、愛媛県松山市三津浜在住。翻訳家。

18歳から独学で日本語を学習。ソルボンヌ第3大学卒業(日本語翻訳通訳専攻)。来日30余年。東京で翻訳会社、オムニテックジャパンを設立し、松山に支店を設け翻訳事業に従事。

訳出合計約5万ページと30年間の産業分野翻訳の経験を経て、文化庁のプロジェクトの一環として小池真理子著『無伴奏』、五木寛之著『風の王国』も仏訳。



神野 紗希

1983年(昭和58年)6月4日生。愛媛県松山市出身。俳人。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句を始める。2004年、第一回芝不器男俳句新人賞坪内稔典奨励賞受賞。2006年から6年間、NHK-BS「俳句王国」司会。2013年度NHK-Eテレ初心者向け俳句番組「俳句さく咲く！」選者。明治大学・玉川大学講師。



水鏡 なお

1983年(昭和58年)10月29日生。愛媛県西条市生まれ、松山市在住。漫画家。

18歳にして「りぼん」でキャリアをスタート。30歳を前に環境を変えようと松山へ。松山に移り住むと共にスタートした4コマ漫画「よっくんといっしょ」は、小学館「Cheese!増刊号」におけるギャグ・ショート部門で1位を獲るなど一躍人気漫画に。連載開始2年目の2015年には、念願のコミックスも発売。著書『よっくんといっしょ』(小学館出版)。



<参考資料>

『坊っちゃん文学賞』過去の応募数と受賞作品

(職業等は受賞当時)

●第1回

応募内訳 応募総数 1,386 点(男:826 女:556 共著:4)
募集期間 昭和 63 年 7 月～平成元年 6 月 30 日

☆大賞『今日もクジラは元気だよ』(改題:キャッチ)

つきもと ゆたか
月本 裕 東京都在住 エディター 1960 年生

☆佳作『テクノデリックブルー』

とば こうじ
鳥羽 耕史 北海道在住 北海道大3年 1969 年生

☆佳作『シェイク』

はら なおひこ
原 尚彦(本名:原 修二) 東京都在住 コピーライター 1953 年生

●第2回

応募内訳 応募総数 740 点(男:459 女:281)
募集期間 平成 2 年 8 月～平成 3 年 6 月 30 日

☆大賞『魚のように』

なかわき はつえ
中脇 初枝 高知県在住 中村高3年 1974 年生

☆佳作『ある登校拒否児の午後』

たけもり しげひろ
竹森 茂裕 青森県在住 自営業 1958 年生

☆佳作『鳥人の儀礼』

しじゅうから あきら
四十雀 亮(本名:田森良昭) 神奈川県在住 会社員 1951 年生

●第3回

応募内訳 応募総数 1,057 点(男:591 女:467 共著:1)
募集期間 平成 4 年 8 月～平成 5 年 6 月 30 日

☆大賞『土曜日の夜～ The Heart of Saturday Night』

みつやま あけみ
光山 明美 大阪府在住 無職 1959 年生

☆大賞『ノスタルジア』

いわや らんすい
巖谷 藍水(本名:東岩井ユカ) 宮城県在住 第一女高3年 1975 年生

☆佳作『燕よ、春をつれてこい』

きたざわ なぎさ
北沢 渚(本名:北沢友宏) 東京都在住 会社経営 1956 年生

●第4回

応募内訳 応募総数 1,164 点(男:688 女:475 共著:1)
募集期間 平成 6 年 7 月 13 日～平成 7 年 6 月 30 日

☆大賞『がんばっていきまっしょい』

しきむら よしこ

敷村 良子

愛媛県在住

アルバイト

1961 年生

☆佳作『夏の日』

なるさわ めぐみ

鳴沢 恵(本名:遠藤保宏)

岐阜県在住

フリーター

1972 年生

☆佳作『父のラブレター』

かわの けいこ

河野 敬子

福岡県在住

会社員

1962 年生

●第5回

応募内訳 応募総数 1,037 点(男:623 女:398 共著:1 無記入:15)
募集期間 平成 8 年 7 月 9 日～平成 9 年 6 月 30 日

☆大賞『映写機カタカタ』

よします しげお

吉増 茂雄(本名:吉増重雄)

兵庫県在住

会社員

1968 年生

☆佳作『温故堂の二階から』

たけいし さだふみ

武石 貞文

東京都在住

会社員

1959 年生

☆佳作『ランニング・シャドウ』

かとう しょうこ

加藤 唱子(本名:矢野由美子)米国在住

主婦

1968 年生

●第6回

応募内訳 応募総数 911 点(男:562 女:305 共著:1 無記入:42)
募集期間 平成 10 年 7 月 14 日～平成 11 年 6 月 30 日

☆大賞『マジックドラゴン』

ながや じゅん

長屋 潤

東京都在住

会社員

1960 年生

☆佳作『ゆれる甲板』

おかだ きょうこ

岡田 京子

神奈川県在住

主婦

1935 年生

☆佳作『ゆうぐれ』

さくらい

桜井 ひかり(本名:小川美幸)東京都在住

松蔭高1年

1983 年生

●第7回

応募内訳 応募総数 811 点(男:526 女:278 無記入:7)
募集期間 平成 12 年 7 月 25 日～平成 13 年 6 月 30 日

☆大賞『富士川』

おにまる ともひこ

鬼丸 智彦(本名:加藤正彦) 山梨県在住 山梨県庁職員 1947 年生

☆大賞『卵の緒』

せお

瀬尾 まいこ(本名:瀬尾麻衣子)京都在住 中学校講師 1974 年生

☆佳作

該当作品なし

●第8回

応募内訳 応募総数 1,008 点(男:639 女:364 無記入:4 共著:1)
募集期間 平成 14 年 7 月 23 日～平成 15 年 6 月 30 日

☆大賞『三度目の正直』

あさい かん

浅井 柑(本名:非公表) 千葉県在住 県立高校 3 年 1985 年生

☆佳作『二重奏』

いわした けいすけ

岩下 啓亮 埼玉県在住 専業主夫 1962 年生

☆佳作『激痛ロード・グラフィティ』

ときた しんや

時田 慎也 東京都在住 フリーライター 1968 年生

●第9回

応募内訳 応募総数 1,067 点(この回から男女別の統計を取っておりません)
募集期間 平成 16 年 7 月 27 日～平成 17 年 6 月 30 日

☆大賞『ゆくとし くとし』

おおぬま のりこ
大沼 紀子

東京都在住 フリーライター 1975 年生

☆佳作『坂の下の蜘蛛』

たかはし あきみつ
高橋 亮光

東京都在住 大学生 1984 年生

☆佳作『明日へ帰れ』

あした
むちやうん
無茶雲

大阪府在住 高校生 1989 年生

●第10回

応募総数 1,048 点
募集期間 平成 18 年 7 月 11 日～平成 19 年 6 月 30 日

☆大賞『タロウの^{かんし}鉗子』

^{うまき}甘木 つゆ子(本名:堀口順子)東京都在住 アルバイト 1978 年生

☆佳作『君が咲く場所』

こみこ みこ(本名:非公開) 兵庫県在住 アルバイト 1976 年生

☆佳作『ともだちごっこ』

^{よしの}吉乃 かのん(本名・職業:非公開)大阪府在住 1974 年生

●第11回

応募総数 1,138 点
募集期間 平成 20 年 7 月 25 日～平成 21 年 6 月 30 日

☆大賞『右手左手、左手右手』

ふじくわ ^{あや}綾(本名:加藤綾) 大阪府在住 アルバイト 1978 年生

☆大賞『なれない』

^{むらさき}村崎 えん(本名:村長紗季) 滋賀県在住 大学生 1987 年生

☆佳作

※該当作品なし

●第12回

応募総数 1,057 点
募集期間 平成 22 年 7 月 27 日～平成 23 年 6 月 30 日

☆大賞『桃と灰色』

^{まえだ しほ}真枝 志保(本名:檜崎志保) 広島県在住 家事手伝い 1978 年生

☆佳作『星々』

^{あそべ かおり}遊部 香 千葉県在住 会社員 1975 年生

☆佳作『チチノチ』

^{しらさき ゆう}白崎 由宇(本名・職業:非公開)千葉県在住 1976 年生

●第13回

応募総数 1,060 点
募集期間 平成24年7月24日～平成25年6月30日

☆大賞『キラキラハシル』

^{きり}桐 りんご(本名:非公開) 沖縄県在住 主婦 1981年生

☆佳作『日曜日の翌日はいつも』

^{あいかわ えいすけ}相川 英輔(本名:岩尾祐介)福岡県在住 大学職員 1977年生

☆佳作『赤いろ黄信号』

^{なかむら ももこ}仲村 萌々子(本名:中村萌々子)東京都在住 大学生 1993年生

●第14回

応募総数 911 点
募集期間 平成26年7月25日～平成27年6月30日

☆大賞『名もない花なんてものはない』

^{うづき いつか}卯月 イツカ(本名:非公開) 大阪府在住 パートタイマー 1975年生

☆佳作『ひかり駆ける』

^{よしだ つとむ}吉田 勉 埼玉県在住 フリーライター 1979年生

■本件に関するお問い合わせ先

松山市 総合政策部 文化・ことば課 坊っちゃん文学賞実行委員会事務局

〒790-8571 松山市二番町四丁目7-2

電話 089-948-6634